

2007年のゼミを振り返って

「自分」

2年 吉島 奈那

菅原ゼミの一員になり、1年間勉強して私が得たものは“自分”だ。先生の授業では、日本人が得意の多数決は相手にされず、しっかりと自分の思想や意思を持っていなければ、授業に参加する意味がない。高校でも大学の他の授業でも、今までこんなに参加型の授業は受けたことがなかったから、最初は凄く戸惑ったし、授業に行くのが不安だった。私は、この日本の教育にガッチリはまった、粹からはみ出ない無難な回答しか出来ない性格だったからだ。幼い頃から、間違っただけの解答をするのが恐かった上に、自分の考えを発表するなんて大の苦手だった。

でも、このゼミでは、そんなことは言っていられないと思った。そして、1年間授業を受けているうちに、人によってこんなに考えは違うものなのかと感じた。当たり前のことなのに新鮮だった。最初のうちはディスカッションも進まず、気まずかったが、最近は皆で意見をぶつけることが出来るようになった。ゼミでは模範解答はなく、皆それぞれの回答がある。議論はするが、間違いの回答は存在しない。そんな環境が、私を少しずつ変えてくれた。まだまだ、自分の意見が言えない時や、発表するのが苦手だったり、自分を情けなく思うことは多々ある。が、確実に変わっていける自身はある。

来年は、1番苦手な、“発表や文を読んだ後に、すぐ質問できる”ようになることを目標にする。発表を聞いても、文を読んでも、そうなんだ～と感心して終わってしまい、疑問や反論をすぐ持てないからだ。最後になりましたが、1年間、ゼミの雰囲気盛り上げようと色々考案して下さったことをとても感謝しています。最近、大分打ち解けてきて、授業でも意見しやすいですし、ゼミが楽しくなってきました。頑張るので、来年もよろしくお願いします。

「ゼミを受けて変わったこと」

2年 高橋 雄次

4月の自分と12月の自分を比べてみると、良かったのか悪かったのかは分かりませんが、考え方が180度変わりました。このゼミに出会えたおかげで経営学について学べたというより、より広い視野で物事を見ることができるようになったと感じています。それは日常生活のちょっとしたことでも、以前では絶対に考えなかったことを考えるようになったり、いろんなことに興味を持つようになったりしました。また、自分でいろんなことに積極的に参加したりするようになりしました。自分で体験することの大切さがわかったような気がします。例えば、この前聞いたM&Gの中村社長の話も4月の自分だったら確実に聞いていなかったと思います。いままでくだらないと思っていたことが、いまはとても面白く感じるようになりしました。

今年が一番の成果は失敗を振り返って考えられるようになったことです。今まで何度も同じ失敗をたくさんしてきたのに、自分でその失敗の理由を考えることもなかったです。でも、失敗から見えてくるものがたくさんあるといろいろ実感しています。『発明家トーマス・エジソンは、一万回以上失敗し続けた末に、白熱燈を完成させました。「一万回以上、使えない方法を発見しただけで、失敗は一度もしていない」と彼はっています。』（菅原オンラインブログ引用）素晴らしい！

逆にゼミを受けていて自分のダメなところも大きく分けて3つわかりました。1つ目は自分は人の話を聞いているとそのまま納得して聞いてしまい、その話の中に疑問を感じたりできないことです。これはいつもゼミを受けていて思うことですが、誰かがプレゼンテーションしてもほとんど疑問が浮かんでできません。2つ目は自分の意見をまとめて話したり、文章に書いたりすることがとても苦手だということです。これは大学に入ってからずっと感じていたことなんですがレポートを書いたりするのにものすごく時間がかかります。3つ目は本を読んでいて内容を理解するのに時間がかかることです。自分は本を読む時何度も同じページを読み直して、結局時間がかかっていしまいます。この3つが自分にとっての来年の課題です。

今振り返ってみると自分は19年間目先のことばかり見ていて、周りのみんなと同じように生きようとしてきました。それでいてずっとみんなと同じような人生は送りたくないとずっと思っていました。今考えるととても矛盾してます。また、いままで自分は経営学なんて全く興味がなかったし、勉強も、自分の将来もどうでもよく、何とかなると考えていました。でも、今は少しではありますが変わりました。もしこのゼミを受けてなかったら大事なことに気付かず、ずっとダラダラとした人生になったと思います。毎回ゼミが終わるとがんばらなきゃって思います。4月から変わったのは自分の気持ちなのかもしれません。

「今年の自分の成長と来年の抱負」

2年 平沼 麻美

4月の自分から今の自分を考えると、一番変わったと思う点は、考え方である。ゼミでいつも話している「人と違うことをする」という意識をもって物事を考えられるようになった。また、以前より自分の考えをはっきり持ち、伝えられるようになった。

やり残したことは、レポートやプレゼンなど技術的な面であまり成長出来なかったことである。来年はもっと自他共に成長したと評価してもらえようになりたい。

「4月からの変化」

2年 鈴木 雄太

ゼミに入る前の自分は人に自分の意見を表現することが下手だった。文章にしる、口頭にしる相手に自分の気持ちを伝えることがあまり得意とは言えなかった。しかし、ゼ

ミで度重なる課題をこなすうちに少しずつだけ自信がついてきた。自信がつくことによって自分を表現することができるようになってきたと感じる。

自分では自覚していなかったけれども、先生に成長していると言ってもらえたことでより自信につながった。未だにレポートの文末の終わり方があいまいなところが多いので、もっと練習を重ねていきたいです。

「12月の自分 - 4月の自分」

2年 荻田 春佳

人と同じではダメということ、国際的に成功するためにはどのような人間性が必要かある程度学んだことと、プレゼンの際どのような話し方で話すとひきつけられるかみんなのプレゼンを聞いたり、先生の話し方を聞いたりして少し分かりました。

「12月 - 4月の自分 = プレゼンにおける度胸」

2年 武田 雄介

4月までの段階では、自分が人前で発表を行うなど考えられなかったが、ゼミで発表を行ううちにそのあたりの度胸が少なからず身につきました。